

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●健康福祉部		
	節	1	ともに支えあう、心豊かな健康づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民は、自分自身の健康について関心をもち、自らの健康づくりに主体的に取り組むとともに、地域の中でともに支え合いながら、心豊かに健康でいきいきと暮らしています。また、それぞれの年代に応じた健康に関する情報等をいつでも手軽に入手しながら、身近なところで健康づくりを実践しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 健康づくり懇話会の設置数	14か所	—	—	—	—	19か所	—	—	—	—	22か所
	—	16か所	16か所	17か所	17か所						
② ヘルシーチェック受診者数(20歳～39歳の市民を対象に市で行っている健康診査)	241人	—	—	—	—	350人	—	—	—	—	400人
	—	317人	290人	343人	293人						
③ 大腸がん検診受診率(40歳以上の市民を対象に市で行っている検診)	35.60%	—	—	—	—	40%	—	—	—	—	50%
	—	33.4%	31.1%	30.4%	29.5%						
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 心豊かな健康づくりの推進	35,849	2	0	2	0	健康増進課
2 保健サービスの充実	428,261	3	0	3	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	464,110	5	0	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	1	ともに支えあう、心豊かな健康づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	<p>【心豊かな健康づくりの推進】市民自らが主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、健康意識の啓発や地域の実情に合った情報等を提供するとともに、地域住民や町会・自治会、ボランティア等と協働し、健康づくり事業を行う。</p> <p>【保健サービスの充実】子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを支援するため、妊娠、出産、育児まで切れ目のない母子保健事業を展開するとともに、健康増進事業、予防接種事業を充実させる。また、医療や福祉の関係機関と連携し、市民の健康づくりを支援する体制を強化する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) 心豊かな健康づくりの推進では、第2次八潮市健康づくり行動計画に基づき、健康づくり懇話会、健康スポーツまつり、体力づくり講座等を実施するとともに、健康マイレージ事業において、市の特産品等を特典とした仕組みを導入した。また、八潮市いのちを支える自殺対策計画に基づき、講座や会議の開催、普及啓発等を実施した。		
	<p>保健サービスの充実では、妊婦健診、乳幼児健診などの母子保健事業を実施するとともに、子育て世代包括支援センター（利用者支援事業母子保健型）を円滑に運営した。また、ヘルシーチェック、がん検診、こころの健康相談などの健康増進事業、各種定期予防接種を行う予防接種事業を実施した。</p>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<p>心豊かな健康づくりの推進では、様々な世代に健康づくりに対する意識啓発を図るため、様々な手段による健康情報の発信や、身近なところで気軽に健康づくりに取り組める環境整備が必要である。また、「健康マイレージ事業」においては、参加者の拡充を図りながら、市民が主体となった健康づくりを推進していく必要がある。</p> <p>保健サービスの充実では、母子保健事業においては、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の充実を図り、健康増進事業においては、ヘルシーチェックやがん検診の受診率向上に向けた積極的な取組が必要である。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	健康づくり推進事業においては、講座等の事業を計画どおり実施し、特に健康マイレージ事業では、前年度より294人多い981人の市民が参加した。母子保健事業においては、子育て世代包括支援センターを円滑に運営し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の充実に努めた。健康増進事業においては、受診率向上を図るため積極的に受診勧奨を行った。以上のことから概ね順調とした。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																						
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>心豊かな健康づくりの推進では、第2次八潮市健康づくり行動計画に基づき、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、積極的な情報発信と各種健康づくり事業を随時見直しながら着実に実施する。また、市と協働で健康づくり事業を推進する自主グループ等の担い手を育成する仕組みを検討する。</p> <p>保健サービスの充実では、母子保健事業においては、市関係部署や関係機関との連携強化を図りながら「子育て世代包括支援センター」を運営し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の充実を図る。健康増進事業においては、あらゆる機会を通じ、健康の保持増進や健(検)診の必要性について普及啓発し、各種健(検)診の受診率向上と講座等の事業参加者の増加を図る。予防接種事業においては、委託医療機関と連携し、安全かつ円滑な予防接種事業を行う。</p>																																						
	<p>■重点事業（部で5事業まで）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1</th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>心豊かな健康づくりの推進</td> <td>健康づくり推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>心豊かな健康づくりの推進</td> <td>保健センター管理運営事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>保健サービスの充実</td> <td>母子保健事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>保健サービスの充実</td> <td>健康増進事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>保健サービスの充実</td> <td>予防接種事業</td> </tr> </tbody> </table>	1	施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	02	01	01	心豊かな健康づくりの推進	健康づくり推進事業	2	02	01	01	心豊かな健康づくりの推進	保健センター管理運営事業	3	02	01	02	保健サービスの充実	母子保健事業	4	02	01	02	保健サービスの充実	健康増進事業	5	02	01	02	保健サービスの充実
1	施策コード			施策の内容	事務事業																																		
	章	節	施策																																				
1	02	01	01	心豊かな健康づくりの推進	健康づくり推進事業																																		
2	02	01	01	心豊かな健康づくりの推進	保健センター管理運営事業																																		
3	02	01	02	保健サービスの充実	母子保健事業																																		
4	02	01	02	保健サービスの充実	健康増進事業																																		
5	02	01	02	保健サービスの充実	予防接種事業																																		

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	02	01	01	健康づくり推進事業	■		■	健康福祉部	健康増進課	12,511	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	02	01	01	保健センター管理運営事業	■			健康福祉部	健康増進課	23,338	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	01	02	母子保健事業			■	健康福祉部	健康増進課	108,699	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	01	02	健康増進事業			■	健康福祉部	健康増進課	63,672	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	02	01	02	予防接種事業				健康福祉部	健康増進課	255,891	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										464,111	部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●健康福祉部		
	節	2	いのちを守る医療体制づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民は、かかりつけ医を持ち、日頃から健康について医療機関に相談し、自分自身の健康管理に努めています。また、救急医療体制が整備され、市民は救急時に適切に医療機関を受診でき、安心して暮らしています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① かかりつけ医（歯科医を含む）を持つ市民の割合	-	-	-	-	-	50%	-	-	-	-	60%
②	-	-	-	44.3%	-	-	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域医療提供体制の充実	11,548	1	0	1	0	健康増進課
2 地域救急医療体制の整備	18,264	2	0	2	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	29,812	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	2	いのちを守る医療体制づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	<p>【地域医療提供体制の充実】市民が自ら健康管理を行うため、地域の医療機関との協力体制の充実を図りながら、かかりつけ医（歯科医も含む）の定着を推進する。また、専門的な医療機関（産科等）の誘致活動を推進する。</p> <p>【地域救急医療体制の整備】初期救急医療体制を確立するため、休日診療所の円滑な運営に努める。また、埼玉県東部南地区の第二次救急医療に協力する医療機関に対し、運営や設備整備のための支援を行うとともに、相談窓口を周知するなど、救急医療体制の充実に努める。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	<p>（説明） 地域医療提供体制の充実では、各種の健康づくり事業を通じて、かかりつけ医（歯科医を含む）の必要性について啓発するとともに、地域の医療機関との協力体制を円滑にし、保健衛生、地域医療を促進するため、地域医療団体並びに在宅歯科診療整備事業に対し補助金を交付した。また、「産科誘致に係る支援方針」に基づき、周知を行うとともに、産科開設希望者への相談等の対応を行った。</p> <p>地域救急医療体制の整備では、市民の救急時医療に対応するため、初期救急医療機関である「八潮市立休日診療所」を通年開設した。また、埼玉県東部南地区の第二次救急医療に協力する医療機関に対し運営支援を行った。</p>		
	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	<p>地域医療提供体制の充実では、日ごろの健康管理や病気の早期発見、早期治療のため、かかりつけ医の必要性について、これまで以上に市民の意識を高める必要がある。また、専門的な医療機関として産婦人科の確保が求められている。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	いのちを守る医療体制づくりでは、地元医師会・歯科医師会などとの連携・協力により、地域医療並びに救急医療に係る事業等が概ね順調に展開された。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
施策の展開方針	<p>（説明）</p> <p>地域医療提供体制の充実では、かかりつけ医を持つ市民の割合を高めるため、かかりつけ医の必要性について、様々な機会を捉えて積極的に周知するとともに、地域医療団体並びに在宅歯科診療整備事業に対する補助金交付などにより、地域医療提供体制の充実を図る。また、「産科誘致に係る支援方針」に基づき、支援内容の情報発信や産科開設に係る相談等を行う。</p> <p>地域救急医療体制の整備では、埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会などを通じて、救急医療提供体制の充実に努めるとともに、市民に対し、救急医療に関する相談窓口等の情報を提供し、適切な医療サービスが効率的に受けられる環境整備に努める。また、初期救急を担う公的医療機関として、休日診療所の安定的な運営の確保に努めるとともに、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながら適切な診療を行う。</p>			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード	施策の内容		事務事業
	章 節 施策			
1	02 02 01	地域医療提供体制の充実		地域医療促進事業
2	02 02 02	地域救急医療体制の整備		休日診療所運営事業
3	02 02 02	地域救急医療体制の整備		救急医療対策事業
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	02	02	01	地域医療促進事業	■		■	健康福祉部	健康増進課	11,548	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	02	02	休日診療所運営事業				健康福祉部	健康増進課	13,198	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	02	02	救急医療対策事業	■		■	健康福祉部	健康増進課	5,066	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										29,813	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●健康福祉部		
	節	3	誰もが安心して生活できる社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	国民健康保険制度や後期高齢者医療制度が安定的に運用され、市民は必要な医療保険サービスを受けることができます。また、国民年金制度に対する理解が進み、市民が制度に基づき年金を受給することができます。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 特定健康診査受診率 （国の現行基準における市町村国民健康保険の目標値60%）	0.372	—	—	—	—	60%	—	—	—	—	60%
	—	37	38.3	37.8	38.6						
② 特定保健指導実施率 （国の現行基準における市町村国民健康保険の目標値60%）	8.60%	—	—	—	—	60%	—	—	—	—	60%
	—	7.9	18.1	8.4	13.2						
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 国民健康保険制度の適切な運用	9,052,639	4	1	3	0	国保年金課
2 後期高齢者医療制度の適切な運用	1,798,395	2	1	1	0	国保年金課
3 国民年金制度の理解促進	8,079	1	1	0	0	国保年金課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	10,859,113	7	3	4	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	3	誰もが安心して生活できる社会づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	<p>【国民健康保険制度の適切な運用】国民健康保険制度の都道府県単位での運営への移行を踏まえつつ、県と市町村との適切な役割分担に基づき、医療費適正化に向けた取組や保険給付の実施、必要な財源の確保等、国民健康保険制度の適切な運用に努める。</p> <p>【後期高齢者医療制度の適切な運用】埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、保健事業の実施や保険料の徴収等、後期高齢者医療制度の適切な運用に努める。</p> <p>【国民年金制度の理解促進】日本年金機構との連携を図り、広報紙やホームページの活用、年金相談等を通じて、国民年金制度の理解促進に努める。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>国民健康保険制度の適切な運用では、医療費の適正化に努めるとともに税金を含めた自主財源の確保を図った。</p> <p>後期高齢者医療制度の適切な運用では、埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、保険料の確保等の適切な運用に努めた。</p> <p>国民年金制度の理解促進では、年金制度の周知に努めるとともに、市民から提出された書類の進達などを行った。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>国民健康保険事業では、被保険者数の減少傾向に伴い国保税が減少している中、特定健診の受診率の向上や特定保健指導の実施等による医療費の適正化を進めるほか、国保の都道府県化に対応するための取組が求められている。</p> <p>後期高齢者医療制度では、高齢化の進行等により、医療費が増加傾向にある中、その財源となる保険料の収納強化に努める必要がある。</p> <p>国民年金制度では、保険料免除制度の拡充など、様々な制度改正に対し日本年金機構と連携しながら、適切に対応することが求められている。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	<p>国民健康保険事業では、特定健診・特定保健指導の受診率・実施率において目標値との乖離があったものの、国保税の収納率の向上や保険給付費の減が見られた。</p> <p>また、後期高齢者医療制度と国民年金制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られた。</p>

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<p>●現状のまま推進 ■見直して推進 ■大幅に見直して推進</p> <p>→ ■重点化(拡充) ■縮小 ■その他</p>
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>国民健康保険事業では、第2期八潮市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、より一層医療費の適正化に努めるとともに、被保険者の健康の保持・増進に努める。また、第3期八潮市特定健康診査等実施計画に基づき、特定健康診査・特定保健指導の受診率（実施率）の向上に努める。</p> <p>また、平成30年度からスタートした国保の都道府県化については、今後も国、県の動向に十分注視し、適宜必要な措置を講ずる。</p> <p>後期高齢者医療制度では、制度改正の動向を注視しつつ、埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、制度の適切な運用に努める。</p> <p>国民年金制度では、日本年金機構と連携しながら、様々な制度改正に係る周知や、国民年金制度に対する理解の促進を図り、市民の年金受給権の確保に努める。</p>

重点事業（部で5事業まで）

No.	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険保健事業
2	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険税賦課事務
3	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険医療費給付事業
4	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険支援事業
5	02	03	02	後期高齢者医療制度の適切な運用	後期高齢者医療保険事務

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	02	03	01	国民健康保険保健事業	■	■		健康福祉部	国保年金課	92,100	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	02	03	01	国民健康保険税賦課事務				健康福祉部	国保年金課	69,760	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	02	03	01	国民健康保険医療費給付事業				健康福祉部	国保年金課	8,283,908	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	03	01	国民健康保険支援事業				健康福祉部	国保年金課	606,871	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	03	02	後期高齢者医療保険事務	■			健康福祉部	国保年金課	949,120	—	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	03	02	後期高齢者医療費等法定負担事務	■			健康福祉部	国保年金課	849,274	—	☆☆☆	現状のまま継続	増加	現状維持
■	02	03	03	国民年金事務				健康福祉部	国保年金課	8,079	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										10,859,113	部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 市民活力推進部		
	節	4	スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民の誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しみ、体を動かすことの楽しさを実感し、体力の維持向上、ストレスからの開放等、心身ともに健康で楽しく毎日を過ごしています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値 計画・目標	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① スポーツ教室の開催数と参加者数	5教室 98人	—	—	—	—	7教室 140人	—	—	—	—	10教室 200人
	—	6教室 99人	38教室 717人	41教室 843人	27教室 616人						
② スポーツ・レクリエーション指導者数	10人	—	—	—	—	15人	—	—	—	—	20人
	—	11人	11人	2人	1人						
③	—	—	—	—	—						
	—										
④	—	—	—	—	—						
	—										
⑤	—	—	—	—	—						
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 スポーツ・レクリエーション活動の推進	8,454	2	0	2	0	スポーツ振興課
2 スポーツ・レクリエーション活動体制の充実	1,787	1	0	1	0	スポーツ振興課
3 スポーツ・レクリエーション団体の育成	5,139	1	0	1	0	スポーツ振興課
4 スポーツ・レクリエーション施設の充実	129,861	1	0	1	0	スポーツ振興課
5						
6						
7						
8						
9						
計	145,241	5	0	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	4	スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	平成31年3月に策定した「八潮市スポーツ推進計画」に基づき、次の各施策に取り組む。 (1)「スポーツへの参加機会の充実」では、子どもから成人、高齢者など、だれもがスポーツを楽しめる機会の充実を図る。 (2)「スポーツ活動を支える人材と団体の育成」では、スポーツ団体等と連携し、スポーツ活動を支える担い手の発掘・育成とスポーツ団体への支援を行う。 (3)「スポーツの場の充実」では、安全で安心して利用できる施設であるとともに、ニーズに合わせた施設となるよう、適切な維持管理と施設の充実に努める。 (4)「スポーツを通じたまちづくり」では、スポーツイベントによる地域活性化、スポーツに関する情報発信やトップアスリートとの交流・支援等のほか、子どもの競技力向上等を通じたジュニアアスリートの発掘・育成に取り組む。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	(1) 企業等と連携を図り、こどもの潜在能力を活かす「ミズノ忍者学校」「ヘキサスロン」などの教室を開催した。 (2) 八潮市出身の専門家を招き、「ジュニアアスリートのためのコンディショニング」をテーマにした指導者講習会を開催した。 (3) 中川スポーツパークの多目的広場Bを開設し、同スポーツパークの全面利用を開始した。また、鶴ヶ曽根体育館の空調設備を全面改修した。 (4) リニューアルした「文スポだより」を発行しスポーツに関する情報を発信した。また、八潮市出身のトップアスリートの紹介やトップアスリートを支援する奨励金制度を創設した。		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	● 大きな課題がある
	(1) ニーズに合った効果的な講座の開催に向け、企画・講師確保・安定的な運営の確立が課題となっている。 (2) 少子・高齢化等を背景に、スポーツ団体の新たな担い手の発掘や、時代にあった指導力の向上を図る必要がある。 (3) 新スポーツ施設の早期整備や（仮称）八条北運動広場の整備、老朽化が顕在化している既存施設の計画的な改修等が必要である。 (4) スポーツ情報の発信では、動画等の電子媒体を活用した取組、また、スポーツイベントの開催では、新しい生活様式等を踏まえた検討及び必要な対策を講じる必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	(1) 企業と連携し、新たなスポーツ教室を開催し好評を博した。 (2) 専門家による指導者講習会を開催し、参加者から高い評価を受けた。 (3) 中川スポーツパークの全面利用や空調設備の改修等、計画的な施設の充実に図られた。 (4) 市内在住トップアスリートとの協働による動画配信等を実施したほか、トップアスリートの発掘・支援をするための奨励金制度を創設した。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																					
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																					
施策の展開方針	(説明) 「八潮市スポーツ推進計画」に基づき、次の各施策に取り組む。 (1)「スポーツへの参加機会の充実」では、子どもから成人、高齢者など、だれもがスポーツを楽しめる機会の充実を図る。 (2)「スポーツ活動を支える人材と団体の育成」では、スポーツ団体等と連携し、スポーツ活動を支える担い手の発掘・育成とスポーツ団体への支援を行う。 (3)「スポーツの場の充実」では、安全で安心して利用できる施設であるとともに、ニーズに合わせた施設となるよう、適切な維持管理と施設の充実に努める。また、（仮称）八条北運動広場の整備に向け取り組む。 (4)「スポーツを通じたまちづくり」では、「新しい生活様式」を踏まえたスポーツイベントの開催に向けた検討・対策を講じるとともに、スポーツに関する情報発信やトップアスリートとの交流・支援等のほか、子どもの競技力向上等を通じたジュニアアスリートの発掘・育成に努める。																																					
■重点事業（部で5事業まで）																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>スポーツ・レクリエーション活動の推進</td> <td>スポーツ振興事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>04</td> <td>04</td> <td>スポーツ・レクリエーション施設の充実</td> <td>体育施設管理運営事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>スポーツ・レクリエーション活動の推進</td> <td>スポーツ大会事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策の内容	事務事業	節	施策	1	02	04	01	スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ振興事業	2	02	04	04	スポーツ・レクリエーション施設の充実	体育施設管理運営事業	3	02	04	01	スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ大会事業	4						5					
章	施策コード		施策の内容	事務事業																																		
	節	施策																																				
1	02	04	01	スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ振興事業																																	
2	02	04	04	スポーツ・レクリエーション施設の充実	体育施設管理運営事業																																	
3	02	04	01	スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ大会事業																																	
4																																						
5																																						

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源		
	章	節	施策											事業費	労働量	
■	02	04	01	スポーツ振興事業	■		■	市民活力推進部	スポーツ振興課	4,329	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
■	02	04	01	スポーツ大会事業	■			市民活力推進部	スポーツ振興課	4,125	●	☆☆	見直して継続	増加	増加	
■	02	04	02	スポーツ指導者支援事業	■		■	市民活力推進部	スポーツ振興課	1,787	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
■	02	04	03	スポーツ・レクリエーション団体支援事業				市民活力推進部	スポーツ振興課	5,139	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
■	02	04	04	体育施設管理運営事業			■	市民活力推進部	スポーツ振興課	129,861	●	☆☆	見直して継続	増加	増加	
										145,240	部の事業費計					

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●健康福祉部		
	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	地域の一人ひとりが、人と地域の絆を大切にし、互いに支え合うことにより、誰もが安心して笑顔でいきいきと生活を送っています。また、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができない市民やそのおそれのある市民が、包括的な相談や支援を受けながら、自立し安定した生活を送っています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① ボランティア活動団体登録数	89団体	—	—	—	—	108団体	—	—	—	—	118団体
	—	96団体	108団体	111団体	99団体						
② 就労支援プログラムに基づく就労率	46.60%	—	—	—	—	47.60%	—	—	—	—	48.60%
	—	58.9%	56.2%	50.0%	29.2%						
③		—	—	—	—						
	—										
④		—	—	—	—						
	—										
⑤		—	—	—	—						
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 相互扶助意識の高揚	16,056	2	2	0	0	社会福祉課、長寿介護課
2 地域福祉環境の整備	0	1	1	0	0	社会福祉課
3 地域福祉活動の充実	78,457	2	2	0	0	社会福祉課
4 生活の安定のための支援	2,728,148	3	3	0	0	社会福祉課
5						
6						
7						
8						
9						
計	2,822,661	8	8	0	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	①相互扶助意識の高揚:八潮市社会福祉協議会との共催による「高齢者と障がい者のスポーツの祭典」といった交流事業を開催し、市民の地域福祉活動の増進及び相互扶助意識の高揚を図る。②地域福祉環境の整備:八潮市地域福祉計画に基づき地域福祉の推進に関する各種事業を実施し、人と地域の絆の再生を図り、互いに支え合う地域づくりを推進する。③地域福祉活動の充実:地域福祉の推進に欠かせない八潮市社会福祉協議会や民生委員・児童委員に対する支援を行い地域福祉活動の推進を図る。④生活の安定のための支援:生活保護制度・生活困窮者自立支援事業の適切な運営を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) ①相互扶助意識の高揚では、市内の福祉ボランティア団体・ボランティア推進校の協力を得ながら、八潮市社会福祉協議会との共催による「高齢者と障がい者のスポーツの祭典」を実施した。②地域福祉環境の整備では、第2期八潮市地域福祉計画に基づき、地域福祉の推進に向け啓発等を行った。③地域福祉活動の充実では、八潮市社会福祉協議会と連携しながら、地域福祉に関する各種ボランティア活動への支援を行うとともに、民生委員・児童委員活動が円滑に行えるよう支援を行った。④生活の安定のための支援では、生活困窮者自立支援相談件数が312件、そのうち8人に住居確保金を支給した。また、生活保護事業の就労支援により26人が就労した。		
	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
課題	地域福祉の推進においては、自助・互助・共助・公助という役割分担のもと、地域における多様な主体がそれぞれの役割を担いながら協働し、福祉の力を高める地域づくりが求められている。今後においても、八潮市地域福祉計画に位置付けられた「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「障がい者行動計画・障がい福祉計画」、「子ども・子育て支援事業計画」や、生活困窮者自立支援事業、生活保護制度に係る各事業展開などの取組が必要である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	八潮市社会福祉協議会や八潮市民生委員・児童委員協議会等への支援を行うとともに、八潮市社会福祉協議会や八潮市民生委員・児童委員協議会との連携・協働のもと八潮市地域福祉計画に基づく各種事業に取り組むことで地域福祉の推進が図られており、施策内の各事業も順調に進んでいる。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進	<input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進								
<input type="checkbox"/> 重点化(拡充)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> その他									
施策の展開方針	(説明) ① 相互扶助意識の高揚及び地域福祉活動の充実では、地域福祉の担い手の中心的存在である八潮市社会福祉協議会、八潮市民生委員・児童委員協議会や各種福祉ボランティア団体との連携・支援などを通じ、さらなる充実に努める。 ② 地域福祉環境の整備では、八潮市地域福祉計画に位置付けられた、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「障がい者行動計画・障がい福祉計画」、「子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理に努めるとともに、生活困窮者自立支援事業の充実及び生活保護制度の適切な運用に努める。 ③ 生活の安定のための支援では、生活保護制度、生活困窮者自立支援事業の適切な運営に努める。										
重点事業（部で5事業まで）											
	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </table>	施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策		
施策コード			施策の内容	事務事業							
章	節	施策									
1	02	05	04	生活の安定のための支援	生活保護事業						
2	02	05	04	生活の安定のための支援	生活困窮者自立支援事業						
3	02	05	04	生活の安定のための支援	セーフティネット支援対策事業						
4											
5											

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	02	05	01	葬祭助成事業				健康福祉部	長寿介護課	13,000	○	☆☆☆	見直して継続	増加	現状維持
■	02	05	01	社会福祉事業				健康福祉部	社会福祉課	3,056	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	05	02	支援体制整備事業	■			健康福祉部	社会福祉課		○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	05	03	社会福祉協議会補助事業	■			健康福祉部	社会福祉課	66,123	○	☆☆☆	見直して継続	増加	現状維持
■	02	05	03	民生委員・児童委員協議会補助事業	■			健康福祉部	社会福祉課	12,335	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	05	04	生活困窮者自立支援事業	■			健康福祉部	社会福祉課	39,081	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	増加
■	02	05	04	セーフティネット支援対策事業				健康福祉部	社会福祉課	38,855	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	05	04	生活保護事業	■			健康福祉部	社会福祉課	2,650,212	●	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										2,822,661					部の事業費計

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●健康福祉部		
	節	6	安心して暮らせ活躍できる長寿社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。 また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。 ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	高齢者が安心して暮らせ、健康で生きがいをもって、住み慣れた地域で自立した生活を送っています。また、介護が必要な高齢者を市民ぐるみで支え合えるまちとなっています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 一次（一般介護）予防事業参加者率	40.40%	—	—	—	—	41.00%	—	—	—	—	42.00%
	—	42.2%	43.3%	23.6%	20.6%						
② 要介護等認定者出現率（後期高齢者）	24.50%	—	—	—	—	24.50%	—	—	—	—	24.50%
	—	24.0%	23.8%	23.3%	23.5%						
③ 老人クラブ会員数	1,929人	—	—	—	—	2,040人	—	—	—	—	2,140人
	—	1,847人	1,795人	1,749人	1,663人						
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 社会参加の促進と生きがいづくり	47,698	1	0	1	0	長寿介護課
2 高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	61,313	4	1	3	0	長寿介護課
3 地域支援事業の推進	232,383	1	0	1	0	長寿介護課
4 介護保険サービスの充実	5,630,860	4	1	3	0	長寿介護課
5						
6						
7						
8						
9						
計	5,972,254	10	2	8	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	6	安心して暮らせ活躍できる長寿社会づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	①社会参加の促進と生きがいがづくり：高齢者が個々のニーズに即した活動を選択できるような情報提供に努めるとともに、八潮市社会福祉協議会や八潮市シルバー人材センター、老人クラブ連合会等の団体との連携を推進します。②高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備：高齢者が安心して生活を送ることができるよう高齢者在宅支援サービスや住まいの支援を充実します。③地域支援事業の推進：介護予防や日常生活支援サービスを充実するとともに、地域課題の把握や解決に向けた支援を行う地域ケア体制を充実します。また、地域での支えあい体制づくりを推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。④介護保険サービスの充実：介護保険制度に基づく居宅サービス、地域密着型サービス及び施設サービスの充実を図るため、介護基盤整備を促進します。また、サービスの質の維持・向上、介護保険制度の安定的な運営に努めます。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) ①社会参加の推進と生きがいがづくり：高齢者の孤立化対策の一環として地域との交流や世代間交流を図ることを目的に、学校給食を利用した「ふれあい共食」を小学校2校と中学校1校で実施し、高齢者33名、児童生徒等90名が参加。②高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備：安否確認と栄養バランスの取れた食事を提供する「安否確認・配食サービス」を233名、18,230食実施。③地域支援事業の推進：認知症の方やその家族、地域住民、専門職、ボランティア等が参加し集う場である「オレンジカフェ」を計4か所で42回開催、延べ877人参加。④介護保険サービスの充実：市内2か所目となる「小規模多機能型居宅介護」を令和元年11月に開設。		
	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	超高齢社会の中で、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増加する中で、要介護状態になっても安心して生活できる介護保険サービスの基盤整備や、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう「地域包括ケアシステム」を構築することが求められている。また、認知症施策や徘徊高齢者家族支援の充実が課題となっている。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	第7期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づいて事業を実施するとともに、第7期事業計画で定めた新規事業や拡充事業を中心に取組を実施した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																				
施策の展開方針	(説明) 超高齢社会を迎え、本市における65歳以上の高齢者人口は20,836人（令和元年10月1日）で、高齢化率は22.68%。さらに、要介護認定率の高まる75歳以上の高齢者数は10,188人、割合は11.09%となっており、団塊の世代が75歳になる2025年には、その割合がさらに増えることが予想される。施策の展開に当たっては、こうした状況を踏まえ、①社会参加の促進と生きがいがづくり（老人クラブ活動、八潮市シルバー人材センターによる就業機会など）を推進し、②地域支援事業の推進では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、平成30年度からモデル地区の取組を実施するなど、第7期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、各種事業を着実に実施する方針である。																																				
■重点事業（部で5事業まで）																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th rowspan="2">節</th> <th rowspan="2">施策</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>施策コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>04</td> <td>介護保険サービスの充実</td> <td>介護保険運営事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>03</td> <td>地域支援事業の推進</td> <td>地域支援事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備</td> <td>高齢者在宅福祉サービス事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>01</td> <td>社会参加の促進と生きがいがづくり</td> <td>老人福祉センター運営事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備</td> <td>老人援護措置・権利擁護事業</td> </tr> </tbody> </table>	章	節	施策	施策の内容	事務事業	施策コード	1	02	06	04	介護保険サービスの充実	介護保険運営事業	2	02	06	03	地域支援事業の推進	地域支援事業	3	02	06	02	高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	高齢者在宅福祉サービス事業	4	02	06	01	社会参加の促進と生きがいがづくり	老人福祉センター運営事業	5	02	06	02	高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	老人援護措置・権利擁護事業
章	節						施策	施策の内容	事務事業																												
		施策コード																																			
1	02	06	04	介護保険サービスの充実	介護保険運営事業																																
2	02	06	03	地域支援事業の推進	地域支援事業																																
3	02	06	02	高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	高齢者在宅福祉サービス事業																																
4	02	06	01	社会参加の促進と生きがいがづくり	老人福祉センター運営事業																																
5	02	06	02	高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	老人援護措置・権利擁護事業																																

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	02	06	01	老人福祉センター運営事業				健康福祉部	長寿介護課	47,698	○	☆☆	現状のまま継続	増加	現状維持
■	02	06	02	高齢者在宅福祉サービス事業				健康福祉部	長寿介護課	27,547	○	☆☆	見直して継続	削減	現状維持
■	02	06	02	老人援護措置・権利擁護事業				健康福祉部	長寿介護課	4,073	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	06	02	長寿祝金支給事業				健康福祉部	長寿介護課	13,589	—	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	06	02	高齢者支援事業				健康福祉部	長寿介護課	16,104	○	☆☆	見直して継続	増加	現状維持
■	02	06	03	地域支援事業				健康福祉部	長寿介護課	232,383	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	06	04	介護保険運営事業				健康福祉部	長寿介護課	4,826,671	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	06	04	介護保険低所得者対策特別事業				健康福祉部	長寿介護課	8,391	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	06	04	介護給付費等法定負担事務				健康福祉部	長寿介護課	790,198	○	☆☆	現状のまま継続	増加	現状維持
■	02	06	04	公的介護施設等整備補助事業				健康福祉部	長寿介護課	5,600	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										5,972,253		部の事業費計			

【課題】 —：課題はほとんどない， ○：ある程度課題がある， ●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調， ☆☆：概ね順調， ☆：遅れ

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●	子育て福祉部		
	節	7	障がい者の安心を支える社会づくり					

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	障がいのある人が、自分に適したサービスを自ら選び、地域の中で自立して生活しています。また、障がいのある人が、障がいのない人とともに社会の様々な分野に積極的に参加し、かけがえのない個人として尊重される地域の中で生活しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 特定相談支援事業所及び障がい児相談支援事業所数	2か所	—	—	—	—	6か所	—	—	—	—	10か所
	—	3か所	3か所	4か所	5か所						
② 障がい者（児）に対する障がい福祉サービス及び障がい児通所給付の利用割合	8.50%	—	—	—	—	9.80%	—	—	—	—	10.30%
	—	13.5	15.5	16.9	17.4						
③ 就労支援センター登録者の就労率	33.70%	—	—	—	—	41%	—	—	—	—	46%
	—	40.7%	43.6	45.6	41.1						
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 在宅福祉サービスの充実	1,373,539	6	3	3	0	障がい福祉課
2 障がい者（児）施設・住環境の整備	90,758	3	2	1	0	障がい福祉課
3 障がい児等の早期療育の充実	402,876	2	0	2	0	保育課、障がい福祉課
4 社会参加の促進	3,105	2	1	1	0	障がい福祉課
5 安全、安心のまちづくりの推進	18,524	2	0	2	0	障がい福祉課
6						
7						
8						
9						
計	1,888,802	15	6	9	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	子育て福祉部
	節	7	障がい者の安心を支える社会づくり	評価者名	津村 哲郎
評価主体が推進する施策の概要	①在宅福祉サービスの充実→障がい福祉サービスや在宅福祉サービスを充実するとともに、関係機関と連携して相談体制の整備を行う。 ②障がい者（児）施設・住環境の整備→障がいのある人の日中活動の場の確保と充実に努め、生活しやすい住環境づくりを促進する。 ③障がい児等の早期療育の充実→乳幼児健診等により、障がいの早期発見に努め、障がいの状況に応じた適切な指導、訓練の実施に努める。 ④社会参加の促進→障がい者の就労支援を行うとともに、障がいのある人が文化やスポーツ活動を通じて障がいのない人との交流を促進する。 ⑤安全、安心のまちづくりの推進→移動手段の確保、建築物や道路、公共交通機関のバリアフリー化を進めるとともに、障がいのある人の権利保護に努める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①基幹相談支援センターを中心に相談体制の強化を図った。②障がい者福祉施設や地域活動支援センターにおいて日中活動の場の提供を行った。③障がい児通所サービスを提供するとともに、発達支援の巡回事業を実施して、障がいの早期療育に努めた。④自立支援協議会の専門部会である「はたらく部会」において事業所の連携強化を図るとともに、就労支援センターの民間委託を実施した。また、スポーツ交流会を実施した。⑤障害者差別解消法、手話言語条例、ヘルプカード・ヘルプマークの周知、普及に努めた。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	身体障がい者が日常的に通所できる施設が市内にないことから、今後の特別支援学校卒業生のための通所施設の確保が必要である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	第6次障がい者行動計画・第5期障がい福祉計画に基づき、福祉施策を実施した。自立支援協議会の専門部会である相談支援部会・はたらく部会を開催し、市内事業所の情報共有・連携強化に努めるとともに、障がい者総合相談窓口「コネクト」を整備するなど、地域で安心して暮らせるまちづくりの整備に努めた。しかし、身体障がい者の通所施設などの課題も残されており、こうした状況を勘案し、概ね順調とした。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																
施策の展開方針	(説明) 第6次八潮市障がい者行動計画・第5期八潮市障がい福祉計画（計画期間：平成30年度～平成32年度）に基づき、各種障がい者支援施策を進める。障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の強化に努める。																																
	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																
重点事業（部で5事業まで）																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>07 01</td> <td>在宅福祉サービスの充実</td> <td>障がい者総合支援事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>07 04</td> <td>社会参加の促進</td> <td>障がい者就労支援事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>07 02</td> <td>障がい者（児）施設・住環境の整備</td> <td>地域活動支援センター事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策の内容	事務事業	節	施策	1	02	07 01	在宅福祉サービスの充実	障がい者総合支援事業	2	02	07 04	社会参加の促進	障がい者就労支援事業	3	02	07 02	障がい者（児）施設・住環境の整備	地域活動支援センター事業	4					5				
章	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	節	施策																															
1	02	07 01	在宅福祉サービスの充実	障がい者総合支援事業																													
2	02	07 04	社会参加の促進	障がい者就労支援事業																													
3	02	07 02	障がい者（児）施設・住環境の整備	地域活動支援センター事業																													
4																																	
5																																	

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	02	07	01	障がい者総合支援事業	■			子育て福祉部	障がい福祉課	1,130,154	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	07	01	障がい者在宅生活支援事業				子育て福祉部	障がい福祉課	10,220	—	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	07	01	障がい者手当支給事業				子育て福祉部	障がい福祉課	64,951	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	07	01	重度心身障がい者医療費支給事業				子育て福祉部	障がい福祉課	165,136	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	02	07	01	障がい者援護措置事業				子育て福祉部	障がい福祉課	2,157	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	07	01	障がい者行動計画・障がい福祉計画推進事業				子育て福祉部	障がい福祉課	921	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	07	02	地域活動支援センター事業	■			子育て福祉部	障がい福祉課	55,795	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	02	07	02	障がい者福祉施設運営事業				子育て福祉部	障がい福祉課	26,548	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	02	07	02	重症心身障がい児施設補助事業				子育て福祉部	障がい福祉課	8,415	—	☆☆☆	現状のまま継続	増加	現状維持
■	02	07	03	障がい児発達支援事業				子育て福祉部	障がい福祉課	397,448	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	07	03	心身障がい児訓練事業				子育て福祉部	保育課	5,428	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	07	04	障がい者修学資金助成事業				子育て福祉部	障がい福祉課	390	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	07	04	障がい者就労支援事業	■			子育て福祉部	障がい福祉課	2,715	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	07	05	障がい者移動等支援事業				子育て福祉部	障がい福祉課	18,090	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	02	07	05	ノーマライゼーション等推進事業				子育て福祉部	障がい福祉課	434	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
										1,888,802	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R1年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●子育て福祉部		
	節	8	全ての子どもの幸せづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	子育てを社会的に支援する体制づくりが進み、充実した保育サービスが受けられることで、安心して子育てができる環境になっています。児童手当やこども医療費の支給により、子育て世帯の生活が安定するとともに、子どもの保健の向上と福祉の増進が図られています。児童虐待防止対策により、保護者の育児不安が軽減され、子どもが安心して生活しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 保育所等施設の確保提供量 （「八潮市子ども・子育て支援事業計画」における保育の量の見込みに基づく）	995人	—	—	—	—	1,183人	—	—	—	—	1,183人
	—	1,057人	1,057人	1,331人	1,614人						
② 地域子育て支援拠点の整備数 （「八潮市子ども・子育て支援事業計画」における地域子育て支援拠点の量の見込みに基づく）	6か所	—	—	—	—	7か所	—	—	—	—	7か所
	—	6か所	6か所	7か所	7か所						
③	—	—	—	—	—						
④	—	—	—	—	—						
⑤	—	—	—	—	—						

施策の内容	R1年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 子育て支援の推進	1,970,741	9	9	0	0	子育て支援課
2 保育施設の整備	1,861,433	6	5	1	0	子育て支援課、保育課
3 保育内容の充実	513,109	2	1	1	0	保育課
4 要保護児童対策の推進	16,646	2	2	0	0	子育て支援課
5 ひとり親家庭等の支援の推進	424,740	1	1	0	0	子育て支援課
6						
7						
8						
9						
計	4,786,669	20	18	2	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	子育て福祉部
	節	8	全ての子どもの幸せづくり	評価者名	津村哲郎
評価主体が推進する施策の概要	(1) 子育て支援の推進：地域子ども・子育て支援事業を充実する。こども医療費や児童手当、誕生祝金を支給する。 (2) 保育施設の整備：保育・学童保育の需要増に対応するため、認可保育所や学童保育所の整備を検討する。 (3) 保育内容の充実：障がい児保育、延長保育、学童保育所等の多種多様な保育内容を充実し、保護者の子育てにおける負担を軽減する。 (4) 要保護児童対策の推進：相談・支援体制を強化し、市民、関係機関、行政相互の協力体制を整備する。 (5) ひとり親家庭等の支援の推進：ひとり親家庭等の自立に向け、総合的な支援を充実する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) (1) 子育て支援の推進では、母乳育児支援給付金や誕生祝い金、児童手当等の経済的支援を実施した。 (2) 保育施設整備では、小規模保育施設1か所とそれに併設した病児病後児保育室1か所、放課後児童クラブ1か所を整備した。 (3) 保育内容の充実では、障がい児保育等の実施をするとともに、民間放課後児童クラブの開所時間延長について検討した。 (4) 要保護児童対策の推進では、養育支援訪問事業を継続するとともに、要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関と連携し、児童虐待防止対策に取り組んだ。 (5) ひとり親家庭等の支援の推進では、児童扶養手当の支給、ひとり親家庭等への医療費を支給した。		
	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	(1) 子育て支援の推進では、直営の子育てひろばの民間委託による運営の充実や、子育て応援ナビによる子育て情報の提供の充実を図る必要がある。 (2) 保育施設の整備では、子育て世帯の流入や女性就業率の上昇、幼保無償化の影響などから保育所及び放課後児童クラブの需要の増加が見込まれるため、更なる整備を検討する必要がある。 (3) 保育内容の充実では、平成29年3月に改定された保育所保育指針に基づき、保育内容の充実を図るとともに、入所児童の安全・安心を確保するため、保育所の指導監査の強化及び民間放課後児童クラブの開所時間の延長について検討していく必要がある。 (4) 要保護児童対策の推進では、職員の増員による体制強化を図るとともに、専門職の配置を進め、要支援家庭の支援充実を図る必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	(1) ほっとステーションに子育てひろば、利用者支援、ホームスタート、ファミサポの4事業を集約し、利用者が増加している。 (2) 要保護児童対策地域協議会における情報共有や適切な支援の実施により、深刻な児童虐待の事案が発生していない。 (3) こども医療費や児童手当等の支給を適切に行っている。 (4) 駅周辺の保育所及び放課後児童クラブのニーズの増加に対応した保育施設等の整備を行った。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																
施策の展開方針	(説明) ・子育てひろばの充実を図るため、直営2か所（やわた子育てひろば、だいら子育てひろば）の民間委託を検討する。 ・子育て世代の流入、女性就業率の上昇、幼保無償化の影響などから保育需要が見込まれるため、保育所等の整備を検討する。また、幼稚園による預かり保育や企業主導型保育の活用等、新たな待機児童対策について検討する。さらに、増加傾向にある駅周辺の保育需要に対応するため、送迎保育サービスの充実を検討する。 ・保育内容の充実を図るため、保育所の指導監査の強化を行うとともに、民間放課後児童クラブの開所時間の延長等について検討する。 ・児童虐待防止施策の充実を図るため、職員の増員と専門職の配置による体制強化を検討する。																																
■重点事業（部で5事業まで）																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>08 04</td> <td>要保護児童対策の推進</td> <td>要保護児童対策事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>08 02</td> <td>保育施設の整備</td> <td>保育所整備事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>08 02</td> <td>保育施設の整備</td> <td>放課後児童健全育成施設整備事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策の内容	事務事業	節	施策	1	02	08 04	要保護児童対策の推進	要保護児童対策事業	2	02	08 02	保育施設の整備	保育所整備事業	3	02	08 02	保育施設の整備	放課後児童健全育成施設整備事業	4					5				
章	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	節	施策																															
1	02	08 04	要保護児童対策の推進	要保護児童対策事業																													
2	02	08 02	保育施設の整備	保育所整備事業																													
3	02	08 02	保育施設の整備	放課後児童健全育成施設整備事業																													
4																																	
5																																	

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R1年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R1年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	02	08	01	赤ちゃんの駅整備事業	■	■		子育て福祉部	子育て支援課	214	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	08	01	子育て支援事業				子育て福祉部	子育て支援課	4,482	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	現状維持
■	02	08	01	地域子育て支援拠点事業		■		子育て福祉部	子育て支援課	37,242	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	02	08	01	ファミリー・サポート・センター事業				子育て福祉部	子育て支援課	4,212	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	08	01	こども医療費支給事業			■	子育て福祉部	子育て支援課	372,534	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	08	01	児童手当支給事業				子育て福祉部	子育て支援課	1,515,865	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	08	01	ホームスタート事業	■	■		子育て福祉部	子育て支援課	2,067	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	08	01	利用者支援事業	■	■		子育て福祉部	子育て支援課	8,018	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	08	01	こども誕生応援事業			■	子育て福祉部	子育て支援課	26,106	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	02	08	02	認定こども園事業	■		■	子育て福祉部	保育課	138,617	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	08	02	保育所整備事業	■		■	子育て福祉部	子育て支援課	0	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	08	02	認可保育所委託事業			■	子育て福祉部	保育課	1,320,709	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	08	02	放課後児童健全育成施設整備事業	■	■		子育て福祉部	子育て支援課	0	○	☆☆☆	見直して継続		
■	02	08	02	小規模保育事業		■	■	子育て福祉部	保育課	395,943	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	08	02	児童館運営事業				子育て福祉部	子育て支援課	6,164	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	08	03	保育所管理運営事業		■	■	子育て福祉部	保育課	291,871	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	08	03	学童保育所管理運営事業		■		子育て福祉部	保育課	221,237	●	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	02	08	04	要保護児童対策事業			■	子育て福祉部	子育て支援課	13,960	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	02	08	04	家庭児童相談室運営事業				子育て福祉部	子育て支援課	2,686	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	02	08	05	ひとり親家庭等支援事業	■			子育て福祉部	子育て支援課	424,740	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
										4,786,668		部の事業費計			

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ